



2024年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社ビジョン
STOCK CODE : 9416
2024年5月15日

- 01 業績ハイライト
2024年12月期第1四半期 実績
- 02 2024年12月期 業績予想
- 03 成長に向けた取り組みの内容
- 04 サステナビリティ ～ESG + SDGs～
- 05 トピックス

2024年12月期 第1四半期 サマリー

売上高

過去最高 8,581百万円

2023 1Q 前年同期比	支援業務等あり	8,347百万円	2.8%増
	支援業務等なし	6,672百万円	28.6%増

営業利益

過去最高 1,524百万円

2023 1Q 前年同期比	支援業務等あり	1,382百万円	10.2%増
	支援業務等なし	904百万円	68.5%増

グローバルWiFi事業

売上高

過去最高 4,647百万円

支援業務等を除く

2023 1Q 前年同期比	支援業務等あり	5,108百万円	9.0%減
	支援業務等なし	3,433百万円	35.4%増

セグメント利益

過去最高 1,431百万円

支援業務等を除く

2023 1Q 前年同期比	支援業務等あり	1,443百万円	0.8%減
	支援業務等なし	965百万円	48.3%増

情報通信サービス事業

売上高

過去最高 3,681百万円

2023 1Q 前年同期比		2,984百万円	23.3%増
---------------------	--	----------	--------

セグメント利益

過去最高 534百万円

2023 1Q 前年同期比		302百万円	76.8%増
---------------------	--	--------	--------

グランピング・ツーリズム事業

売上高

過去最高 243百万円

2023 1Q 前年同期比		215百万円	13.4%増
---------------------	--	--------	--------

セグメント利益

過去最高 28百万円

2023 1Q 前年同期比		6百万円	336.0%増
---------------------	--	------	---------

※前期においては、厚生労働省より委託を受け、東京空港検疫所支所等において新型コロナ対策の支援業務（以下「空港検疫受託」）を行いました。また、医療機関と連携し、PCR検査サービスの提供（以下「PCR検査」）も行いました。

2024年12月期 第1四半期 サマリー

連結

- ◆ 各事業の順調な成長により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも第1四半期過去最高を達成。
- ◆ 売上高**8,581**百万円**28.6%**増、営業利益**1,524**百万円**68.5%**増を計上。
※増減率は前年同期の支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）の売上高および営業利益を除き算出。

グローバルWiFi事業

- ◆ アウトバウンド：データ容量「無制限プラン」の需要が高く、顧客単価は高水準を維持。
- ◆ インバウンド：「NINJA WiFi」の申込が増加。SIMカードの販売も順調に推移。
- ◆ 売上高**4,647**百万円**35.4%**増、セグメント利益**1,431**百万円**48.3%**増と着実に成長。

※増減率は前年同期の支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）の売上高および営業利益を除き算出。

情報通信サービス事業

- ◆ 中途採用を積極的に進めながら、営業力強化。OA機器の販売と電気を取次（エコソリューション事業）が好調に推移。
- ◆ 自社ストックサービスの拡販を展開。
- ◆ 売上高**3,681**百万円**23.3%**増、セグメント利益**534**百万円**76.8%**増と過去最高を達成。

グランピング・ツーリズム事業

- ◆ 山中湖は本格稼働。こしかの温泉は、「温泉旅館グランピング」を展開。
- ◆ 海外OTA（宿泊予約サイト）から外国人の宿泊者が増加傾向。
- ◆ 売上高**243**百万円**13.4%**増、セグメント利益**28**百万円**336.0%**増と過去最高を達成。

株主還元

- ◆ 剰余金の配当（初配）を決定

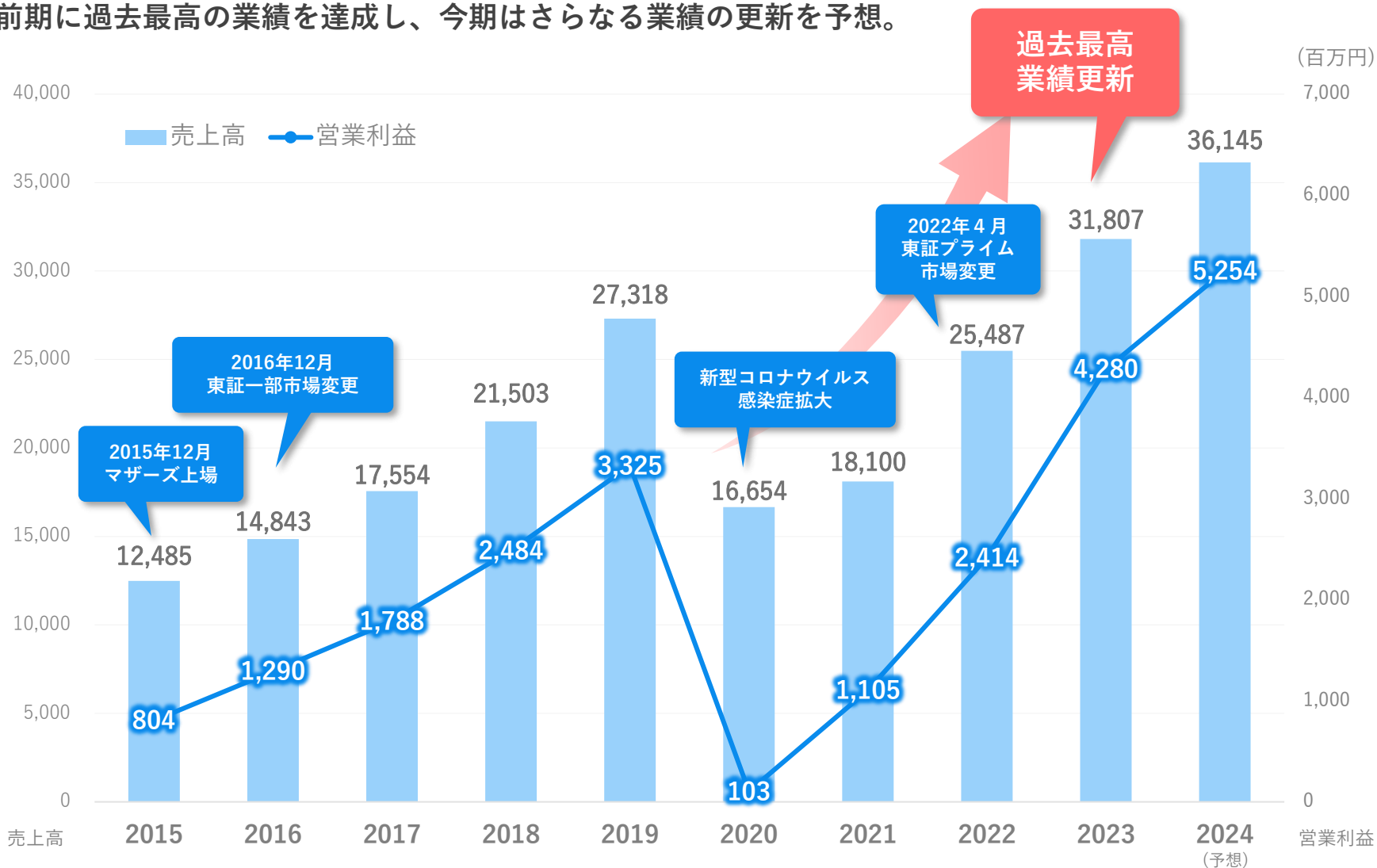
中間配当 **11円00銭**（予想）

期末配当 **14円00銭**（予想）

年間配当 **25円00銭**（予想）

業績推移

前期に過去最高の業績を達成し、今期はさらなる業績の更新を予想。



01

業績ハイライト

2024年12期第1四半期 実績

連結損益計算書

- ◆ 各事業の順調な成長により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも第1四半期過去最高を達成。
- ◆ 売上高**8,581**百万円**28.6%**増、営業利益**1,524**百万円**68.5%**増を計上。
※増減率は前年同期の支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）の売上高および営業利益を除き算出。

	(百万円)	2023年1Q		2024年1Q		YoY増減率		2024年12月期 業績予想	進捗率
		実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率		
売上高	支援業務等あり 支援業務等なし	8,347 6,672	100.0% -	8,581	100.0%	233 1,908	2.8% 28.6%	36,145	23.7%
売上原価		4,094	49.1%	3,633	42.3%	△461	△11.3%	15,568	23.3%
売上総利益		4,252	50.9%	4,948	57.7%	695	16.3%	20,577	24.0%
販売管理費		2,870	34.4%	3,423	39.9%	553	19.3%	15,322	22.3%
営業利益	支援業務等あり 支援業務等なし	1,382 904	16.6% -	1,524	17.8%	141 619	10.2% 68.5%	5,254	29.0%
経常利益	支援業務等あり 支援業務等なし	1,423 944	17.0% -	1,553	18.1%	130 608	9.2% 64.4%	5,256	29.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	支援業務等あり 支援業務等なし	940 614	11.3% -	1,019	11.9%	79 405	8.4% 66.0%	3,500	29.1%

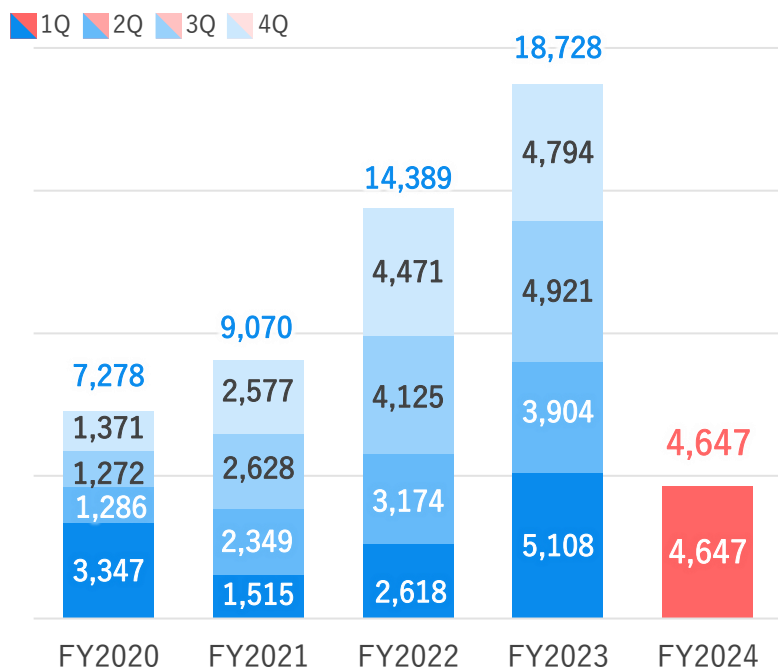
セグメント別売上高および利益

売上高 (百万円)		2023年 1 Q		2024年 1 Q		YoY増減率		2024年12月期 業績予想	進捗率
		実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率		
グローバルWiFi事業	支援業務等あり	5,108	61.2%	4,647	54.2%	△461	△9.0%	20,620	22.5%
	支援業務等なし	3,433	-						
情報通信サービス事業		2,984	35.8%	3,681	42.9%	696	23.3%	14,136	26.0%
グランピング・ ツーリズム事業		215	2.6%	243	2.8%	28	13.4%	1,260	19.4%
報告セグメント計		8,308	99.5%	8,572	99.9%	264	3.2%	36,017	23.8%
その他		48	0.6%	17	0.2%	△31	△64.6%	128	13.3%
調整額		△8	△0.1%	△8	△0.1%	0	-	-	-
セグメント利益 (百万円)		2023年 1 Q		2024年 1 Q		YoY増減率		2024年12月期 業績予想	進捗率
		実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率		
グローバルWiFi事業	支援業務等あり	1,443	28.3%	1,431	30.8%	△12	△0.8%	5,511	26.0%
	支援業務等なし	965	-						
情報通信サービス事業		302	10.1%	534	14.5%	232	76.8%	1,635	32.7%
グランピング・ ツーリズム事業		6	3.0%	28	11.6%	21	336.0%	164	17.2%
報告セグメント計		1,752	21.1%	1,994	23.3%	241	13.8%	7,311	27.3%
その他		△29	-	△52	-	△22	-	△96	-
調整額		△340	-	△417	-	△77	-	△1,961	-

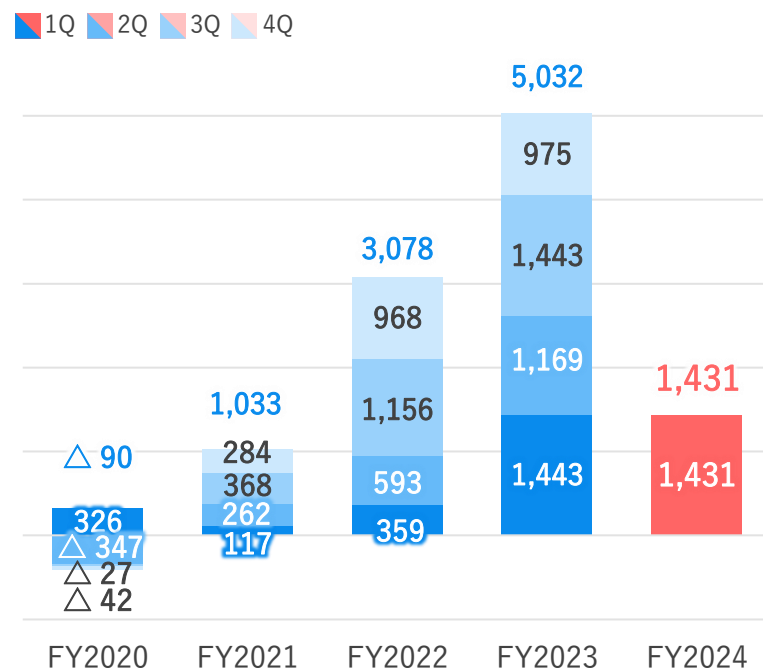
グローバルWiFi事業 業績推移

- ◆ アウトバウンド：データ容量「無制限プラン」の需要が高く、顧客単価は高水準を維持。
- ◆ インバウンド：「NINJA WiFi」の申込が増加。SIMカードの販売も順調に推移。
- ◆ 売上高**4,647**百万円**35.4%増**、セグメント利益**1,431**百万円**48.3%増**と着実に成長。
※増減率は前年同期の支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）の売上高およびセグメント利益を除き算出。

売上高



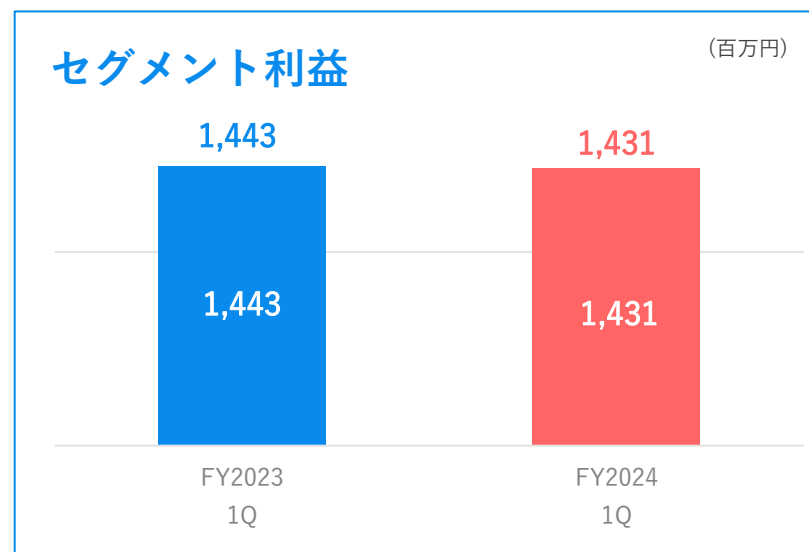
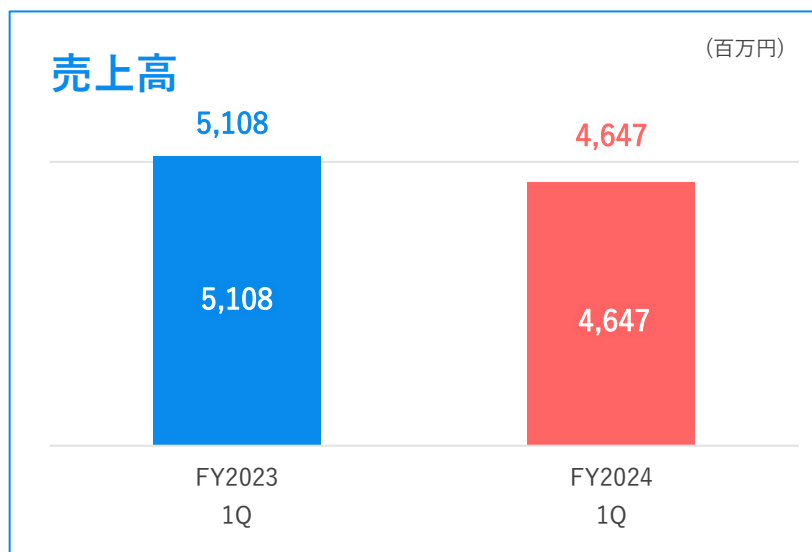
セグメント利益又は損失 (△) (百万円)



グローバルWiFi事業 業績推移

売上高は9.0%減、セグメント利益は0.8%減。

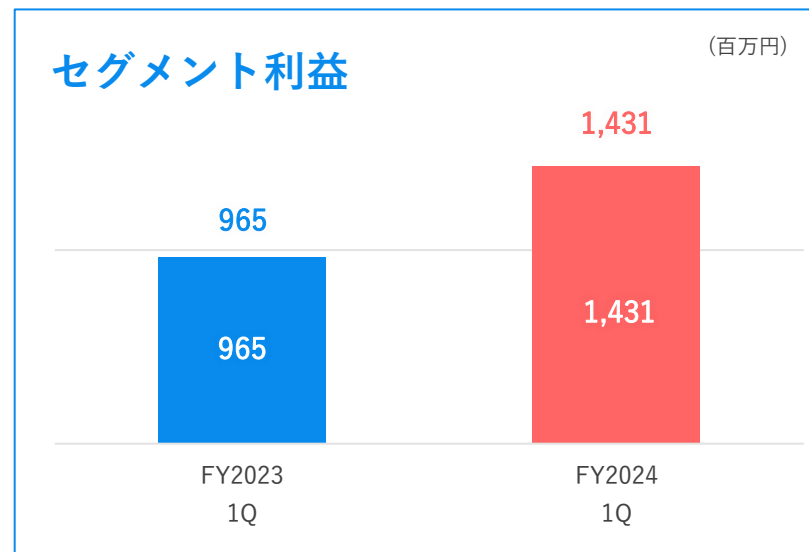
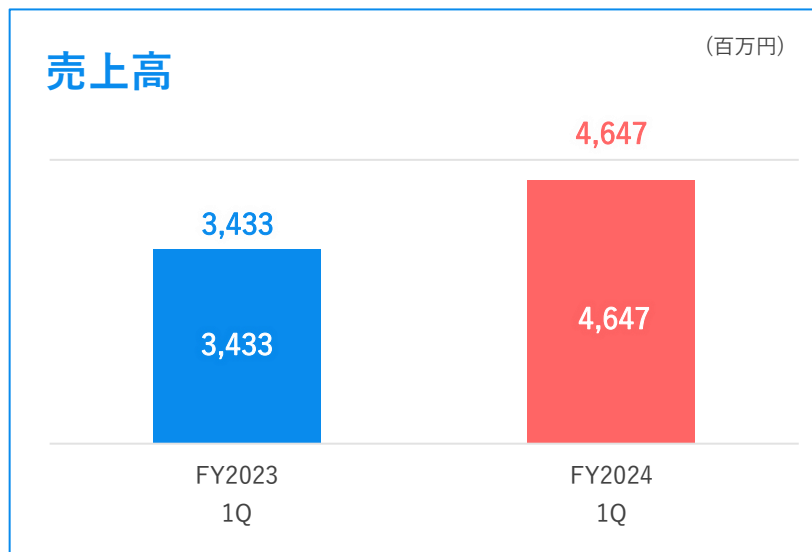
(百万円)	2023年 1 Q	2024年 1 Q		
	実績	実績	前年同期比	増減率
売上高	5,108	4,647	△461	△9.0%
セグメント利益	1,443	1,431	△12	△0.8%



グローバルWiFi事業 業績推移 【支援業務等（空港検疫受託とPCR検査）を除く】

売上高は**35.4%増**、セグメント利益は**48.3%増**。

(百万円)	2023年 1 Q		2024年 1 Q		
	実績		実績	前年同期比	増減率
売上高	3,433		4,647	+1,213	+35.4%
セグメント利益	965		1,431	+466	+48.3%

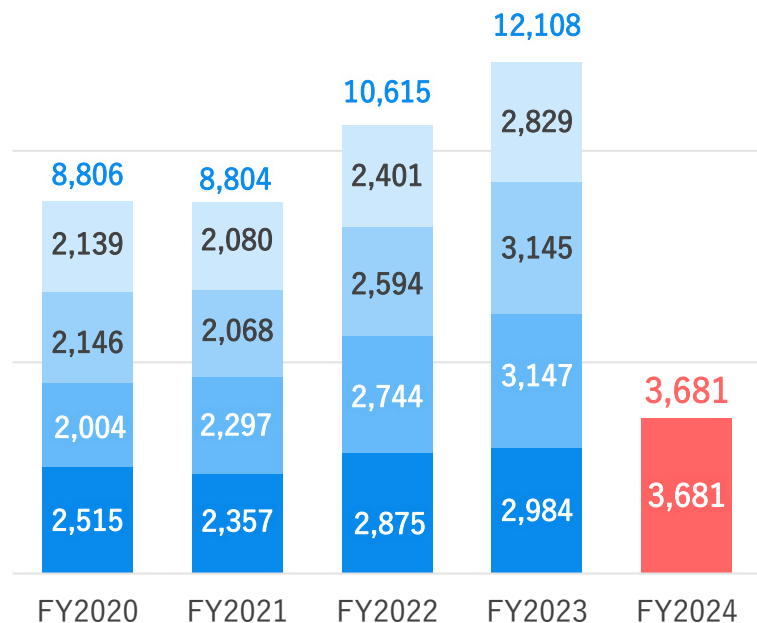


情報通信サービス事業 業績推移

- ◆ 中途採用を積極的に進めながら、営業力強化。O A 機器の販売と電気の取次（エコソリューション事業）が好調に推移。
- ◆ 自社ストックサービスの拡販を展開。
- ◆ 売上高**3,681**百万円**23.3%増**、セグメント利益**534**百万円**76.8%増**と過去最高を達成。

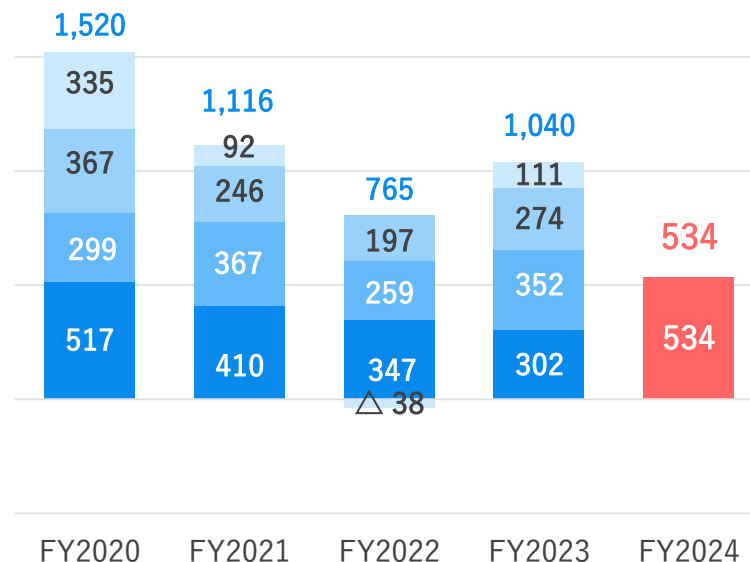
売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



セグメント利益又は損失 (△) (百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



02

2024年12月期 業績予想

通期業績予想

(百万円)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	31,807	100.0%	36,145	100.0%	4,338	13.6%
売上原価	14,005	44.0%	15,568	43.1%	1,563	11.2%
売上総利益	17,802	56.0%	20,577	56.9%	2,774	15.6%
販売管理費	13,521	42.5%	15,322	42.4%	1,801	13.3%
営業利益	4,280	13.5%	5,254	14.5%	973	22.7%
経常利益	4,337	13.6%	5,256	14.5%	918	21.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,025	9.5%	3,500	9.7%	474	15.7%

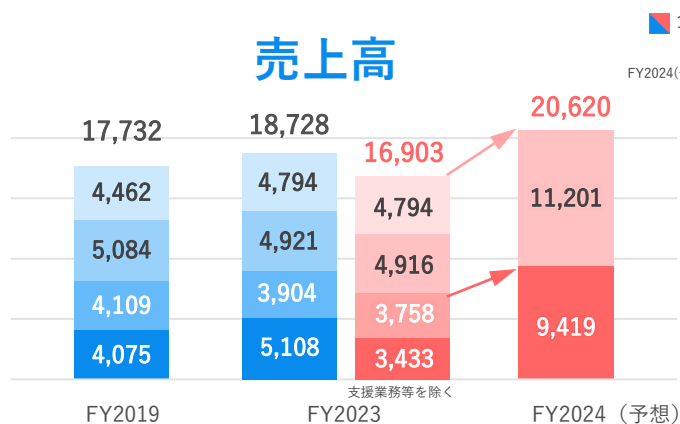
セグメント別通期業績予想

売上高 (百万円)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	18,728	58.9%	20,620	57.0%	1,892	10.1%
情報通信サービス事業	12,108	38.1%	14,136	39.1%	2,028	16.8%
グランピング・ツーリズム事業	913	2.9%	1,260	3.5%	347	38.0%
報告セグメント計	31,749	99.8%	36,017	99.6%	4,267	13.4%
その他	94	0.3%	128	0.4%	33	35.4%
調整額	△36	-	0	-	-	-

セグメント利益 (百万円)	2023年12月期		2024年12月期		YoY増減率	
	実績	利益率	予想	利益率	増減額	増減率
グローバルWiFi事業	5,032	26.9%	5,511	26.7%	478	9.5%
情報通信サービス事業	1,040	8.6%	1,635	11.6%	594	57.1%
グランピング・ツーリズム事業	88	9.7%	164	13.1%	75	85.3%
報告セグメント計	6,162	19.4%	7,311	20.3%	1,149	18.7%
その他	△176	-	△96	-	80	-
調整額	△1,705	-	△1,961	-	△256	-

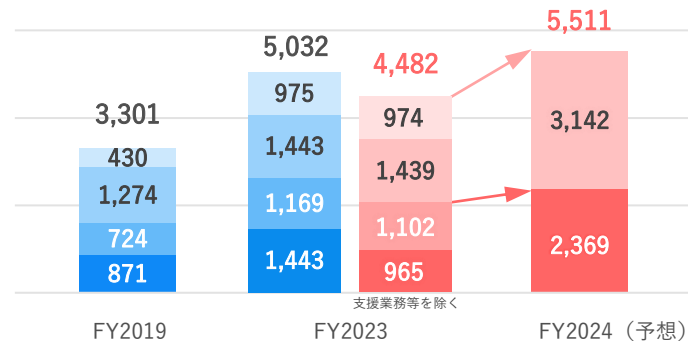
セグメント別通期業績予想

グローバルWiFi事業

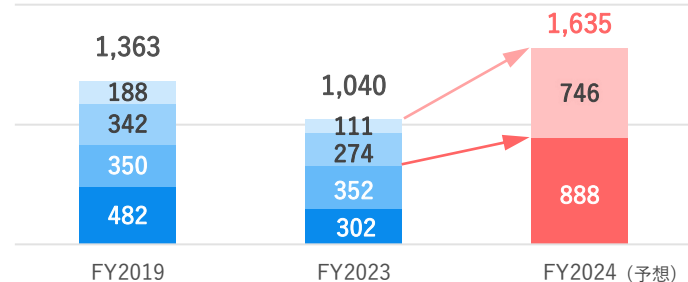
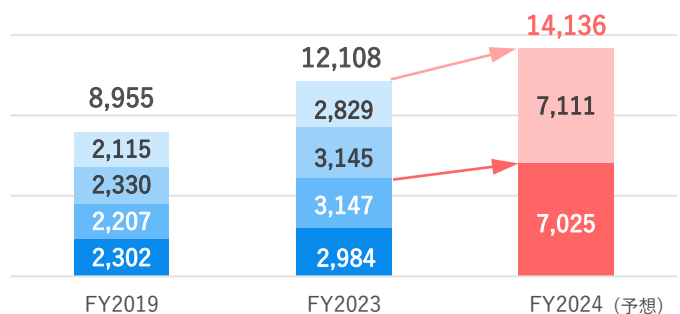


セグメント利益

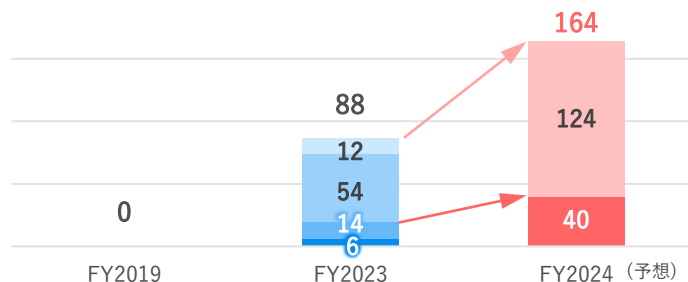
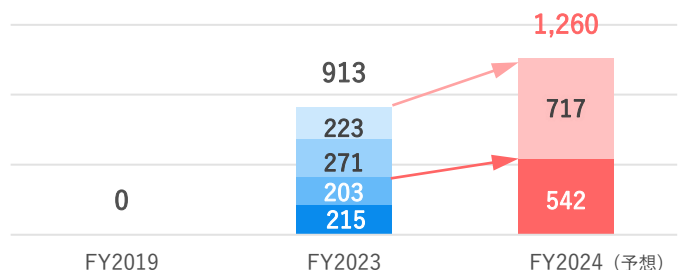
(百万円)



情報通信サービス事業

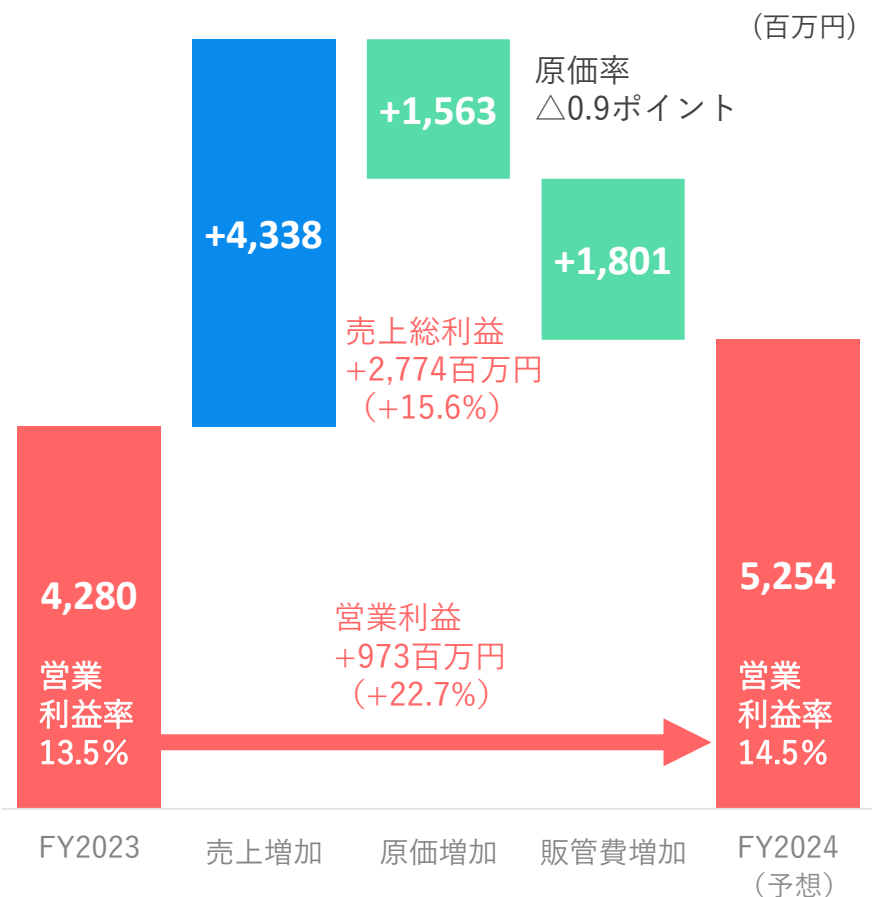


グランピング・ツーリズム事業



営業利益（予想）の増減要因

営業利益率14.5%
(前年同期比約1ポイント上昇)



◆2024年前提条件

積極的な投資を含めた営業利益設定

グローバルWiFi事業

- ・ 為替：150円設定
- ・ 海外渡航回復率：71.2% (2024年通期)
- ・ プロモーション強化による認知度向上
- ・ グローバルWiFi、World eSIMの世界販売

情報通信サービス事業

- ・ 自社ストックサービスの強化
※ビジョン光、セキュリティカメラ、ホームページ、クラウドサービス、各種ビジネス機器レンタル等
- ・ 中途採用：50名 (積極採用)

◆設定条件外

積極的なM&Aを通じて事業シナジーを最大化

通期業績推移（四半期別推移）

		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期
(百万円)		構成比（対通期）	構成比（対通期）	構成比（対通期）	構成比（対通期）	
2020年12月期	売上高	5,989 (36.0%)	3,641 (21.9%)	3,477 (20.9%)	3,546 (21.3%)	16,654
	営業利益又は営業損失（△）	488	△503	73	45	103
	営業利益率	8.1%	—	2.1	1.3	0.6
2021年12月期	売上高	3,938 (21.8%)	4,706 (26.0%)	4,747 (26.2%)	4,708 (26.0%)	18,100
	営業利益	285 (25.9%)	368 (33.3%)	359 (32.5%)	91 (8.3%)	1,105
	営業利益率	7.3	7.8	7.6	1.9	6.1
2022年12月期	売上高	5,609 (22.0%)	6,019 (23.6%)	6,849 (26.9%)	7,009 (27.5%)	25,487
	営業利益	403 (16.7%)	517 (21.5%)	1,027 (42.6%)	464 (19.2%)	2,414
	営業利益率	7.2	8.6	15.0	6.6	9.5
2023年12月期	売上高	8,347 (26.2%)	7,272 (22.9%)	8,333 (26.2%)	7,853 (24.7%)	31,807
	営業利益	1,382 (32.3%)	1,045 (24.4%)	1,289 (30.1%)	563 (13.2%)	4,280
	営業利益率	16.6	14.4	15.5	7.2	13.5
2024年12月期	売上高	8,581				
	営業利益	1,524				
	営業利益率	17.8				

配当予想の修正（初配）に関するお知らせ

当社は、2024年4月23日開催の取締役会において、以下のとおり、第24期からの配当政策の基本方針の変更に伴い、2024年6月30日および12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしました。

配当予想の修正

基準日	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (2024年2月13日予想)	0円00銭	0円00銭	0円00銭
今回修正予想	11円00銭	14円00銭	25円00銭
当期実績			
前期実績 (2023年12月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(注) 上記の1株あたり配当金は現時点における2024年12月期の業績予想に基づいて算定した数であり、今後の業績動向次第で修正する可能性があります。

成長・企業価値向上に向けて

既存事業の生産性向上および新規事業であるグランピング・ツーリズム事業の育成に注力するとともに、強い収益基盤の構築に取り組み、2022年3月1日に発行決議しました第4回新株予約権の行使条件（業績条件）の**早期達成＝企業価値の向上**を目指してまいります。

名称	株式会社ビジョン 第4回新株予約権
発行数	7,200個 新株予約権 1個につき100株 普通株式720,000株
発行価格	新株予約権 1個当たり800円
対象	当社取締役、当社従業員、当社子会社取締役 32名
行使条件 (業績条件)	2023年12月期～2025年12月期のいずれかの事業年度において、 営業利益が40億円を超過した場合行使可能割合50% ⇒達成 2023年12月期～2027年12月期のいずれかの事業年度において、 営業利益が50億円を超過した場合行使可能割合100%

03

成長に向けた取り組みの内容

中期的な成長イメージ

◆グローバルWiFi事業

顧客基盤

拡大：既存事業の拡大、海外マーケットへの展開およびM&A強化

拡充：新サービスやクロスセル商材の拡充

活用：ビッグデータの効果的活用

◆情報通信サービス事業

顧客基盤活用

商品・サービス・ビジネスモデル強化

自社ストックサービスの最大化

クラウドアプリケーションサービス（SaaS）の展開

◆グランピング・ツーリズム事業

グランピング施設の拡充

ツーリズム事業の拡充

営業利益
100億円

グローバルWiFi事業

情報通信サービス事業

グランピング・ツーリズム事業

【第3ステージ】グローバル（海外⇒海外）

【第2ステージ】インバウンド（海外⇒日本）

※日本国内利用含む

【第1ステージ】アウトバウンド（日本⇒海外）

販売チャネル

Web
マーケティング

営業
オンライン・オフライン

CLT
カスタマー・
ロイヤリティー・チーム

店舗
カウンター等

パートナー
旅行会社、OTA含む

海外子会社

顧客基盤

スタートアップ・一般企業
上場企業などの法人顧客

海外企業等と取引の
ある法人顧客

国内外の海外旅行者
※インバウンド含む

個人顧客

グローバルWiFi事業

顧客基盤

拡大：既存事業の拡大、海外マーケットへの展開およびM&A強化

拡充：新サービスやクロスセル商材の拡充

活用：ビッグデータの効果的活用



※2024年2月 ビジョン調べ
「グローバルWiFi for Biz」ご利用者を除く

【新規領域】 M&A

【第3ステージ】
グローバル（海外⇒海外）

【第2ステージ】
インバウンド（海外⇒日本）

※日本国内利用含む

【第1ステージ】
アウトバウンド（日本⇒海外）

eSIM World eSIM

GLOBAL WiFi for Me

NINJA WiFi
Powered by GLOBAL WiFi

Wi-Fi RENTAL .COM

GLOBAL WiFi

GLOBAL WiFi for Biz

市場規模※

国際観光客到着数

約14億人（2018年）

↓
2030年予想

18億人

訪日外客数

約3,188万人（2019年）

↓
2030年予想

6,000万人

出国日本人数

約2,008万人
（2019年）

※出典：日本政府観光局（JNTO）資料、令和元年版観光白書、国連世界観光機関（UNWTO）公表資料

グローバルWiFi事業

お申込み・お受け取り・ご返却が不要

1台で世界中どこでもインターネット グローバルWiFi for Biz



テレワークでのご利用から、急な海外出張の際もすぐにご利用できます。



海外での次世代通信



- ✓ 自分のスマホが180以上の国と地域で使える！
- ✓ 自分にあった料金プランが選べる！
- ✓ 荷物が増えない、受取りや返却もなし！

業界初！

超高速通信 5Gプラン



人気の容量無制限プラン

91か国 対応中

訪日外国客向け
Wi-Fiルーターレンタルサービス



日本旅行のマストアイテム
日本ではフリーのWi-Fiスポットの普及が進んでいないため、フリーのWi-Fiスポットを見つけることは簡単ではありません。NINJA WiFiは完全定額制で日本全国どこでもいつものスマホでインターネット！

届いてすぐに使える



国内旅行や一時帰国、ビジネス（出張やイベント利用）、入院、引っ越し、自宅回線との併用等に利用されています。

お客様の声から生まれたサービス

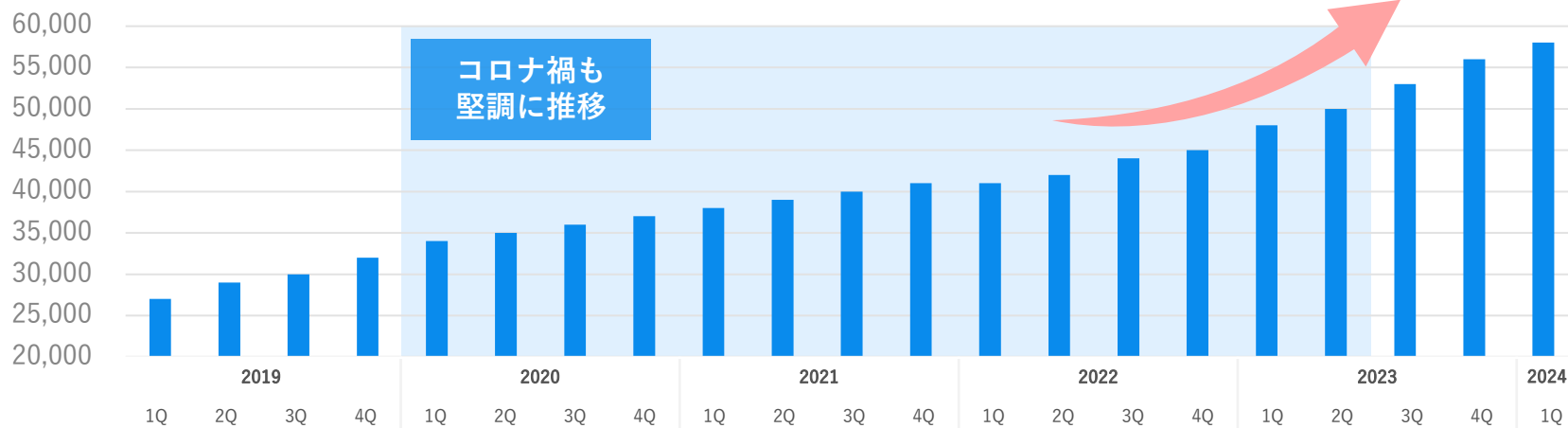


Wi-Fiルーターの購入を検討されているお客様向けの、レンタルではない販売モデルのサービス。購入前にレンタルでのお試し利用でご自宅等の通信環境を確認した上でニーズにあったWi-Fiルーターを購入。

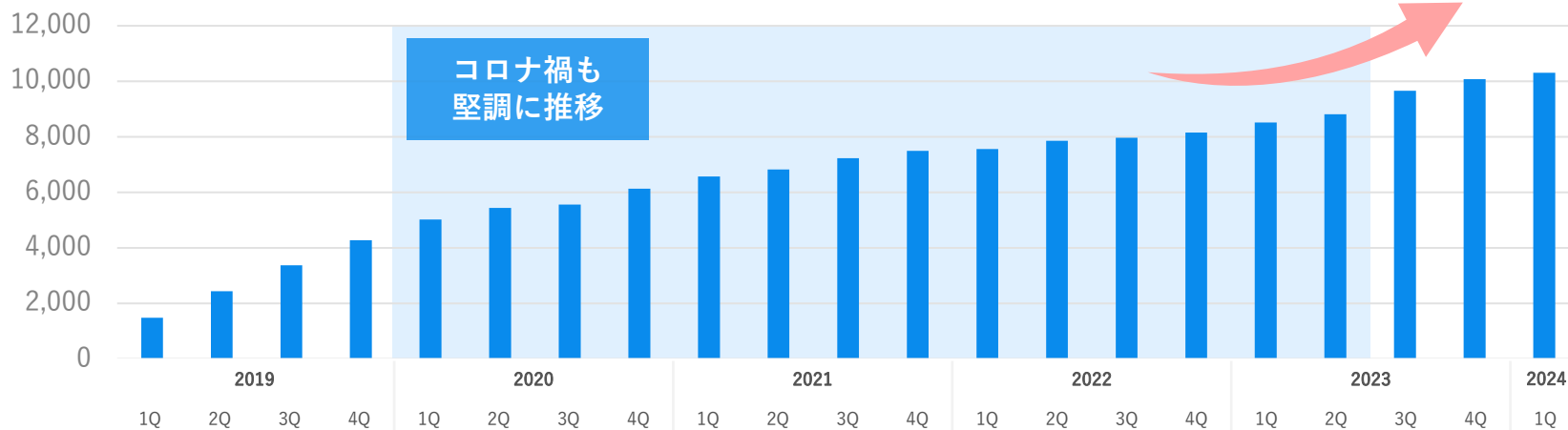
グローバルWiFi事業 法人利用

法人専用フォームをご利用の法人一括請求申込み登録社数

(件数)



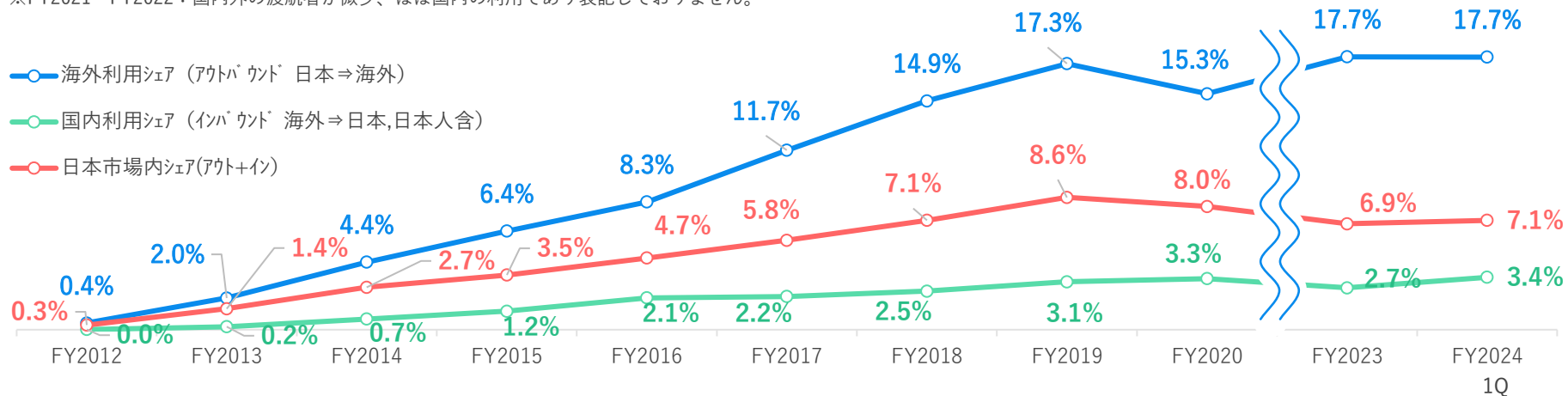
グローバルWiFi for Biz 登録社数



グローバルWiFi事業 利用件数推移

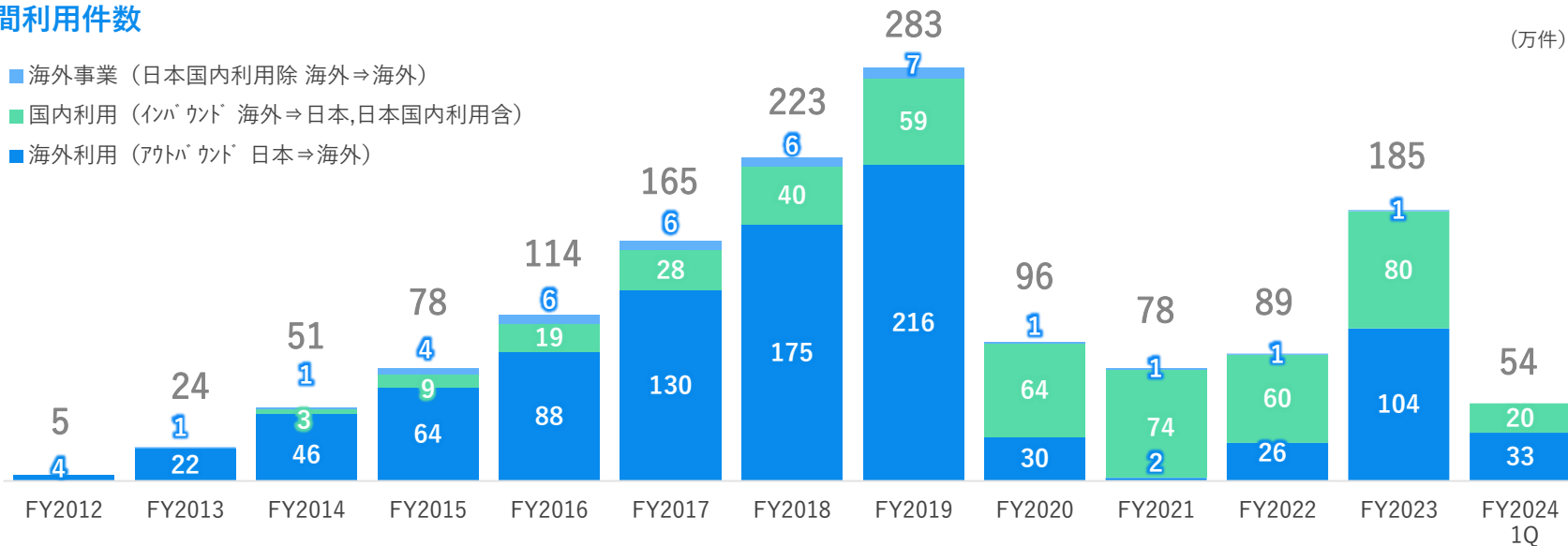
当社Wi-Fiサービス利用浸透率（日本）

※FY2021～FY2022：国内外の渡航者が減少、ほぼ国内の利用であり表記していません。



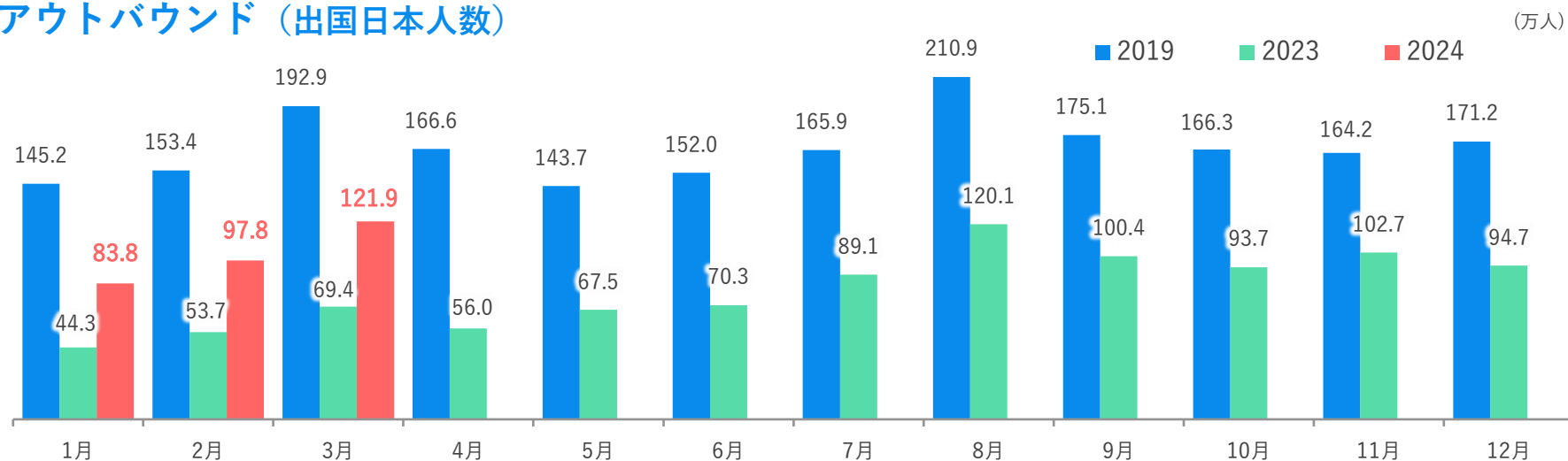
年間利用件数

- 海外事業 (日本国内利用除 海外⇒海外)
- 国内利用 (インバウンド 海外⇒日本,日本国内利用含)
- 海外利用 (アウトバウンド 日本⇒海外)

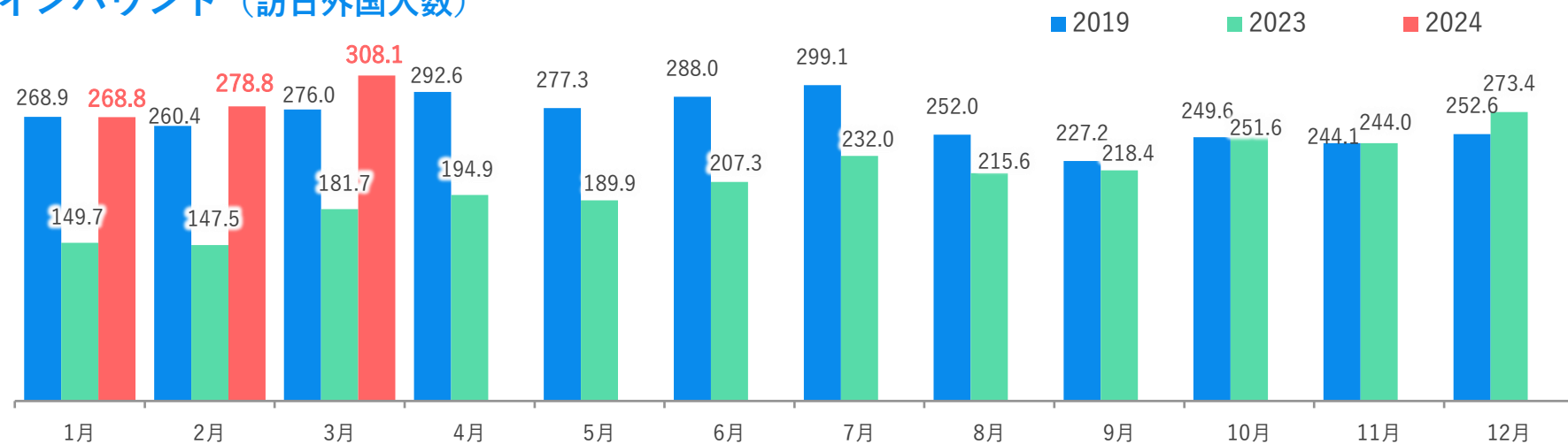


グローバルWiFi事業 海外渡航者数推移

アウトバウンド（出国日本人数）



インバウンド（訪日外国人数）



情報通信サービス事業

スタートアップ支援・自社サービス獲得

J-Startupの サポーター企業に認定

J-Startup

情報通信関連サービスのご提供に加え、スタートアップ・ベンチャー企業のステージ毎に必要な情報提供、協業や支援を行っております。

- ① 商品、サービスの販売代理
- ② 自社顧客、関係会社等の紹介
- ③ レンタル会議室の料金優遇
- ④ 国内外で利用できる Wi-Fiルーター「グローバルWiFi for Biz」の料金優待 等

年間国内で新規設立される法人の
約10社に1社※
と取引がある強み。

※当社と新規取引を開始した設立後6か月以内の企業（個人事業主含む）合計（当社調べ）
※取り扱いサービスおよび商品の変動により獲得数は変動いたします。

【新規領域】M&A

ストック収益

フロー収益

固定通信

移動体通信

OA機器販売

インターネットメディア

エコソリューション

工事関連

スペースマネジメント

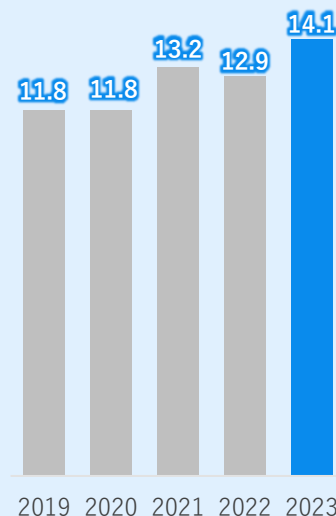
etc.

市場規模

設立登記数（総数）
：141,452件

政府による積極的な創業・開業支援により継続して増加傾向。
約20年の実績を持つWebマーケティングのノウハウを活用した集客。川上戦略。

（単位：万件）



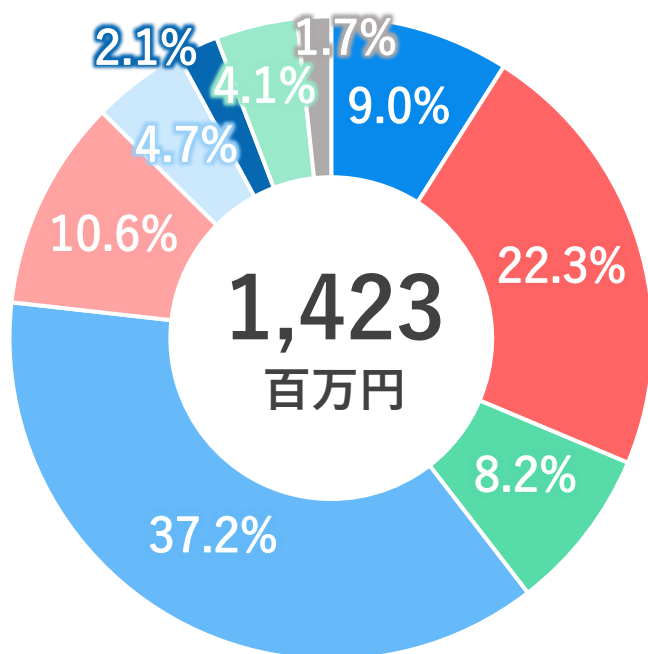
独立行政法人統計センター資料より、当社作成

情報通信サービス事業 売上総利益構成

複数の事業（商品・サービス）及び販売チャネルを持つ強みを活かし、外部環境の変化に柔軟に対応し堅調に推移。

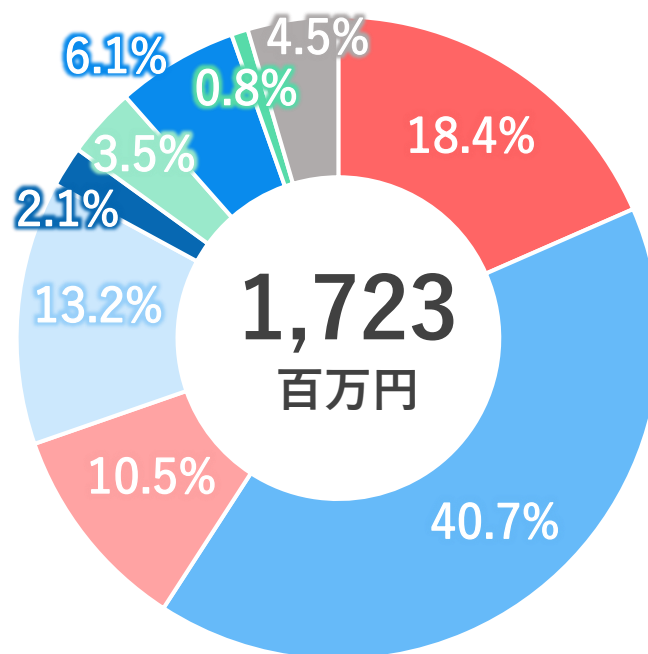
OA機器の販売と電気の取次（エコソリューション事業）が好調に推移。

2023年 1 Q累計



- 固定通信事業
- 移動体通信事業
- ブロードバンド事業
- OA機器販売事業
- インターネットメディア事業
- エコソリューション事業
- 工事関連事業
- スペースマネジメント事業
- その他

2024年 1 Q累計



- 移動体通信事業
- OA機器販売事業
- インターネットメディア事業
- エコソリューション事業
- 工事関連
- アクセスライン
- その他
- スペースマネジメント
- ビジョン光

(注)決算処理を含まない月次損益の比率となっておりセグメント業績と値は異なっております。

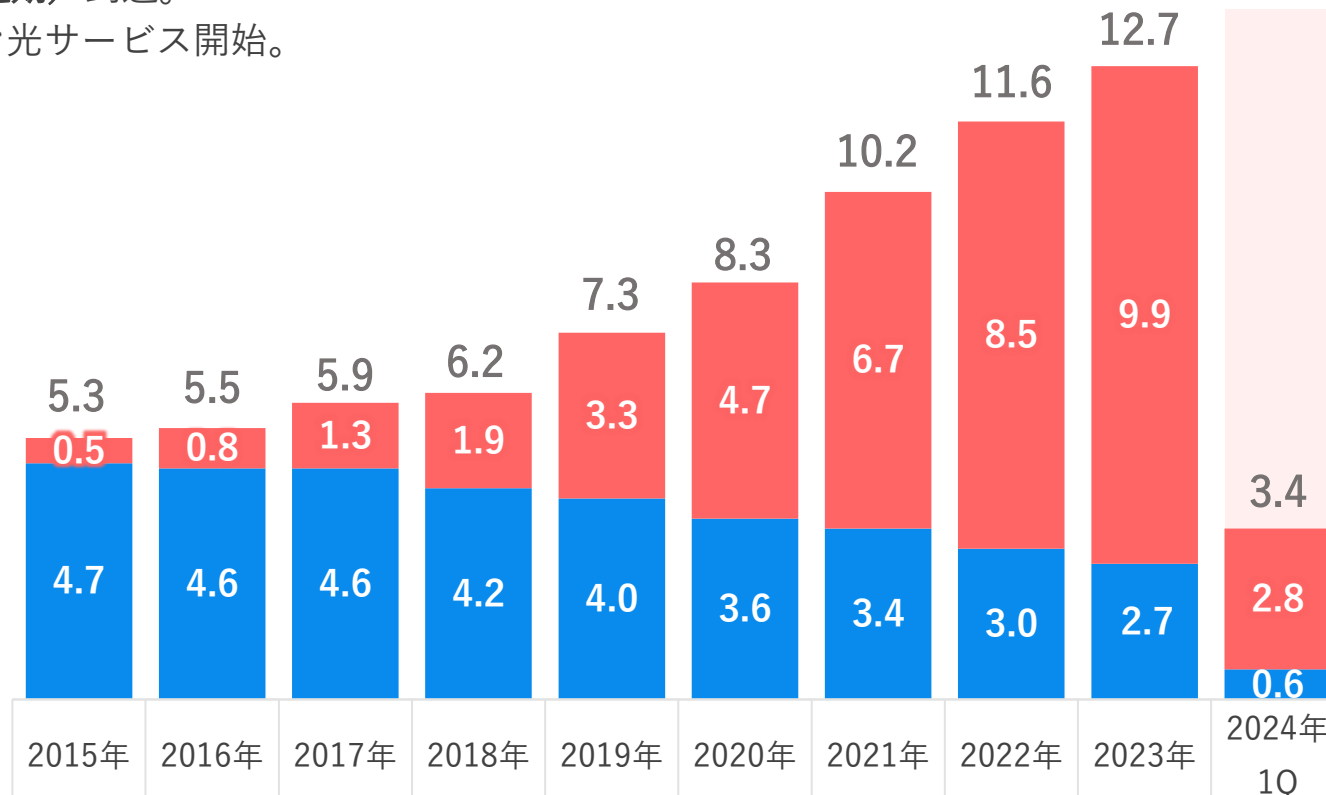
長期的に安定した収益基盤となるストック収益を強化。

2019年12月期より自社サービスの獲得強化。

2021年12月期に10億円（通期）到達。

2023年9月より、ビジョン光サービス開始。

(億円)



■ 自社サービスストック	0.5	0.8	1.3	1.9	3.3	4.7	6.7	8.5	9.9	2.8
■ キャリア・メーカーストック	4.7	4.6	4.6	4.2	4.0	3.6	3.4	3.0	2.7	0.6

自社サービス ～顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供～



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により働き方改革が促進。

お客様・市場・時代のニーズを的確に捉え、新規獲得、企業の成長ステージに応じたアップセル・クロスセルにより継続収益を増やしつつ事業成長。

ビジョン光

自社の光回線サービス『ビジョン光』回線契約とプロバイダ契約の2つの契約が必要な場合でも、ワンストップでご提供。回線品質はそのまま、利用料金がお得にご利用いただけます。



法人携帯の補償・修理サービス
契約台数30,000台～。来店不要で簡単交換・自己負担¥0の法人携帯補償サービス。



LED照明
レンタルで導入費用を抑えて省電力照明を。



「DX認定事業者」に認定

経済産業省が定めるDX（デジタルトランスフォーメーション）認定制度に基づき、「DX認定事業者」に認定されました。



PC・スマホ対応ホームページ制作サービス

MORPH

ホームページ制作・運用
年間制作実績数2,000社以上、スマホ対応のリーズナブルなホームページ制作。運用サービス。ビジュアル訴求に強く、簡単操作で商品やサービスの魅力を伝えます。

自社サービス ～顧客・時代のニーズにあった商材・サービス提供～

「VWSシリーズ」販売好調。

自社開発および自社で利用しているサービスをユーザーへ展開（DX推進）。
クラウドで必要な機能を必要な分だけ月額制で提供。



すべての企業へ、もっと働きやすい環境を

「VWSシリーズ」で「クラウド化」

クラウドツールで日々の業務を効率化しテレワーク等の多様な働き方をサポート。



New!

ネットワークカメラ
提供開始

小さい・あんしん・楽しい
Edge AI ネットカメラ

VWS
Cam

18円/日
ネットワーク
カメラ



格安の価格で、安心を。

月額 **550** 円/台

※1 月額 550 円からのご利用になります。

簡易的な事務所を利用されている方や、飲食店での防犯対策をしていない方などにオススメのネットワークカメラ。

ビジョンが提案する、 新しいグランピング



VISION GLAMPING Resort & Spa
こしかの温泉



こしかの温泉のグランピングは、日本初全室プライベート空間および源泉かけ流し露天風呂付きのグランピング施設です。

自然豊かな霧島の環境でキャンプの良さを十分に味わうだけでなく、ホテル並みの快適な空間をお楽しみください。



VISION GLAMPING
Resort & Spa 山中湖



世界遺産の富士山をはじめとする大自然に囲まれた山中湖での滞在体験を通して、非日常の時間をご提供。

全室に露天風呂やサウナなど全てを完備した完全プライベートグランピング。

候補予定地

04

サステナビリティ ～ESG + SDGs～

サステナビリティ委員会 設置

サステナビリティ基本方針

私たちビジョングループは、『世の中の情報通信産業革命に貢献します』を経営理念に掲げており、この理念の下、サステナビリティへの取り組みを重要な経営課題と位置付け、サステナビリティを重視した経営を行います。具体的には、地球環境への貢献、持続可能な社会と経済成長の実現を目指し、「持続可能な成長」という人類普遍の理念に対し、事業を通じて貢献します。

サステナビリティ委員会

サステナビリティの観点で経営を推進していくため、2024年4月にサステナビリティ委員会を設置しました。サステナビリティ委員会では、サステナビリティ活動に関する全体計画の立案、戦略の策定・改定、重要課題の特定等を行い、委員会規程に基づき環境・社会課題の解決に向けた企業活動に取り組むことで、持続可能な社会づくりに貢献しつつ、持続的な成長・中長期的な企業価値向上を実現していきます。

マテリアリティ（重要課題）

共生成長課題（ビジョンスローガン）

地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン

ビジョングループは、持続可能な地球環境や社会のために、持続的成長をステークホルダーに約束し、多くの事業活動に取り組んでいます。

そのマテリアリティの最上位にスローガンとしての『共生成長課題』を設定し、すべての事業活動の最重要指針とします。

基盤活動課題

— 社会からの要請 —

事業活動による負の影響

must

ESG	テーマ	マテリアリティ
E	環境保護	脱炭素社会実現と環境保護への取り組み
G	働き方改革	全従業員が多様且つ安心して働ける会社

価値創造課題

— 社会からの期待 —

事業活動による正の影響

should

ESG	テーマ	マテリアリティ
S	地方創生	雇用創出・地域活性化で地方経済に貢献
S	未来創造	未来を担う子ども・医療支援で社会に貢献

マテリアリティ (重要課題)

基盤活動課題 (マイナス・抑制すべき課題)

脱炭素社会実現と環境保護への取り組み (E)

環境保護



アクション・現状の取り組み

1. VWS勤怠 / リーガルサイン (電子契約) によるペーパーレス化
2. 電気代削減提案 (LED、エアコン、新電力) によるCO₂削減促進
3. 複合機等カーボンオフセット製品の使用によるCO₂削減取り組み
4. CDP回答・SBT認証取得による情報開示
5. グランピング施設にEVステーションを設置

アクション・今後の取り組み

1. グランピング施設における電力自家発電 (太陽光発電等)
2. 缶・ペットボトルからマイボトルへ (自販機撤去)
3. 発電、蓄電を自社で賄う、または事業展開

価値創造課題 (プラス・価値提供のための課題)

雇用創出・地域活性化で地方経済に貢献 (S)

地方創生



アクション・現状の取り組み

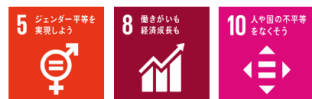
1. 地域採用・テレワークで遠隔勤務による雇用拡大
2. グランピング事業にて食品ロスをなくす取り組み
3. グランピング事業を起点に地産地消、観光資源PR
4. 首都圏・地方問わず積極的な障がい者雇用

アクション・今後の取り組み

1. 地域採用・ワーケーションの導入による地域雇用拡大
2. 地方自治体の企業誘致支援の積極活用
3. 地域企業との連携・アライアンス強化で地域企業の成長支援
4. 地方起業家を育成するためのワンストップサービス

全従業員が多様且つ安心して働ける会社 (G)

働き方改革



アクション・現状の取り組み

1. 時短勤務・フレックス勤務のルール化
2. 女性活躍推進の積極取り組み (えるぼし2つ星承認)
3. 育休の積極取得推進、男性育休の開始
4. キャリアデザイン室の開設、社員のキャリア支援

アクション・今後の取り組み

1. 要介護者家庭・母子家庭・父子家庭への就業支援制度化
2. 更に女性が活躍できるような営業部・商材の確立
3. 資格取得支援によるスキルアップ
4. 本社統一の人事評価制度策定・運用

未来を担う子ども・医療支援で社会に貢献 (S)

未来創造



アクション・現状の取り組み

1. ビジョンキッズ保育園運営で働きやすい環境作り
2. 地方自治体 (GIGAスクール構想) へのWi-Fiルーターレンタルサービス「グローバルWiFi®」でオンライン授業の構築推進
3. グローバルWiFi®でJapan Heartを支援、売上の一部を寄付
4. ピースピースプロジェクトの活動をサポーターとして応援

アクション・今後の取り組み

1. グローバルWiFi®の無償貸与拡大で学生・若者支援
2. 児童養護施設、児童福祉施設の運営もしくは支援
3. 発達障害児童のための施設運営、地域施設との連携
4. カスタマー一体型のNGO団体への支援

ESG + SDGs

ビジョングループは、「情報通信の未来を、すべての人たちの未来のために」という思いのもとに、ESGに配慮した経営と事業戦略を通して、サステナブルな成長と企業価値向上を目指しております。また、国連が定めるSDGsに代表される社会課題の解決等を通じて、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献いたします。



Environmental
環境



一般社団法人RQ災害教育センター



みちのくトレイルクラブ



一般社団法人
エコロジー・カフェ



IT地球温暖化対策グリーン
サイトライセンス



Social
社会



えるぼし2つ星取得



健康経営優良法人
2023



特定非営利活動法人ジャパンハート



ビジョンキッズ保育園



Governance
コーポレート・ガバナンス



コンプライアンス・内部統制



IS 650094 / ISO 27001 :2013



プライバシーマーク
(Pマーク) 取得

MSCI ESGレーティング「A」認定

2024年4月時点のMSCI ESGレーティングは
2023年に引き続き「A」認定

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	----------	----	-----

DISCLAIMER STATEMENT

THE USE BY VISION INC. OF ANY MSCI ESG RESEARCH LLC OR ITS AFFILIATES ("MSCI") DATA, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT, RECOMMENDATION, OR PROMOTION OF VISION INC. BY MSCI. MSCI SERVICES AND DATA ARE THE PROPERTY OF MSCI OR ITS INFORMATION PROVIDERS, AND ARE PROVIDED 'AS-IS' AND WITHOUT WARRANTY. MSCI NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI.

MSCI（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）社のMSCI ESGレーティングにおいて、「A」評価を獲得しました。MSCI ESGレーティングは、企業の環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の取り組みを分析し、最上位ランクのAAAから最下位ランクのCCCまで7段階で格付けされます。

ビジョングループは、「地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン」のスローガンを掲げ、多くの事業活動に取り組んでいきます。

CDP「気候変動レポート2023」【B-】認定

CDP「気候変動スコア2023」において
マネジメントレベル【B-】スコアに認定



CDPは、2000年に発足した英国の慈善団体が管理する非政府組織（NGO）であり、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営しています。



ビジョングループは、共生成長課題（ビジョンスローガン）として「地球の一員として多様な社会と共に創る未来のビジョン」を掲げ、マテリアリティ（重要課題）のひとつ『環境保護：脱炭素社会実現と環境保護への取り組み』を進めております。

05

トピックス

「グローバルWiFi®」 5G超高速通信のエリアを拡大

3月26日より、12の国と地域から新たに下記の23ヶ国で超高速5Gプランの提供を開始。
これにより、グローバルWiFiで5Gを提供するエリアは35の国と地域になりました。
今後も準備が整い次第、提供エリアを拡大予定。

5Gでより快適に使える！

5Gプランは下り最大2.5Gbpsの超高速通信！
旅行の方はより快適に ✈️
ビジネスの方は仕事効率がUP 💡

3Gプラン → 最大42Mbps

4Gプラン → 最大150Mbps

5Gプラン → 最大2.5Gbps

※※ベストエフォート方式による提供のため、実際の通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

5G無制限プラン

新たに23ヶ国で提供開始！

アジア	ヨーロッパ	
アラブ首長国連邦	アイスランド	アイルランド
インド	オランダ	オーストリア
シンガポール	ギリシャ	クロアチア
フィリピン	スウェーデン	スロベニア
マレーシア	チェコ	ハンガリー
	フィンランド	ブルガリア
	ポルトガル	マルタ
	ルクセンブルク	ルーマニア
オセアニア		
オーストラリア		
ニュージーランド		

[リリースはこちら](#)

THISIS株式会社との業務提携

本提携の目的

THISIS社との本提携により、ビジョンが手掛ける各事業におけるサービスの拡張および拡充に多様な親和性を発揮し、お客様の利便性を高めることにつながると考えております。

THISISについて

THISISの通話システムは、相手を識別するURL (THISIS ID) にスマートフォンのブラウザでアクセスするだけで通話やチャットを発信できる点が特徴で、発信者は特定のアプリやアカウント登録がなくてもインターネット環境があれば世界中どこからでも利用できます。

QR読み込み→THISIS通話発信画面を表示→通話→チャット併用も可能



さまざまなシーンでの活用例



CASE1

従業員間の連絡ツール



CASE2

ホテルや旅館の客室通話



CASE3

期間が決まっている
イベント等のお問い合わせ先



CASE4

フリーランス、
小規模事業者の連絡先



CASE5

災害で通話ができない
緊急時のもうひとつの連絡先



CASE6

ペット迷子、
老人徘徊などの連絡先



CASE7

コールセンター



CASE8

飲食店の予約受付

米国（ニューヨーク）子会社設立

「第3ステージ：グローバル（海外から海外）展開」を加速させるため、米国（ニューヨーク）に子会社の設立を決定。

新規設立子会社の概要

商号	Vision,inc（仮）
所在地	米国ニューヨーク州
事業内容	グローバルWiFi事業
資本金	10万USドル（予定）
設立年月日	2024年6月（予定）
決算期	12月末日
大株主及び持分比率	当社100%
事業開始日	未定

ニューヨーク主要3空港 2023年旅客数

※括弧内は国際線利用者



The Port Authority of New York and New Jerseyより、当社作成

[リリースはこちら](#)

IR メールマガジン配信開始

IRメールマガジンは、ビジョンの発表するリリースや適時開示、決算情報など、株主や投資家の皆様に重要な最新情報をメールマガジンとして、適時お知らせいたします。

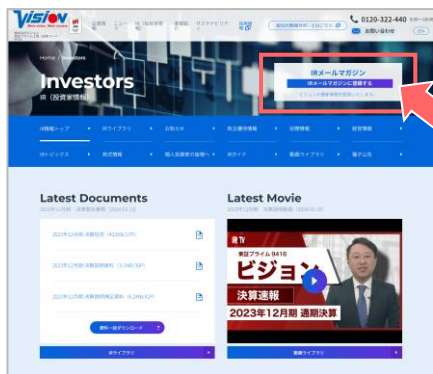
株式会社ビジョンIRメールマガジン
登録フォームはこちらから



IR情報トップページからの登録はこちらから

①IR（投資家情報）トップページのバナーをクリック

<https://www.vision-net.co.jp/ir>



②必要事項をご入力の上「送信」で登録完了です。



送信イメージ



将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp